

## 植物防疫基礎講座：アブラムシ類の見分け方(4)

## 果樹のアブラムシ類(1)

皇學館大学 <sup>そう</sup>宗 <sup>りん</sup>林 <sup>まさ</sup>正 <sup>と</sup>人

## はじめに

日本から記録されたアブラムシのうち、果樹を加害する種類として、農林害虫名鑑には33種が記されている。さらに宮崎(1983)によって、上記のものを含めて42種が本誌「植物防疫, 37(7):36」に記録されている。

本文では、果樹のうちカンキツ類、クリおよびカキを加害するアブラムシについて、種類を区別し得る検索表と各種の形態ならびに加害の概要を記述する。

## I カンキツ類を加害するアブラムシ

## 1 アブラムシの種類

カンキツ類を加害するアブラムシとして、マメアブラムシ、ワタアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ニワトコフクレアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ、モモアカアブラムシ、コミカンアブラムシ、ミカンクロアブラムシなどが知られている。そのほかにクスオナガアブラムシ、ムギワラギクオマルアブラムシ、ハゼアブラムシなども記録されている。

## 2 種の検索表

- (1) 腹部第6および7節側面に多数の顕著な条痕がある。後脚脛節の内側に短くて丈夫な、ほぼ三角形の刺毛がある……………(2)
- 腹部側面の条痕および後脚脛節に上記のような刺毛を欠く……………(4)
- (2) 体は褐色ないし黒褐色で光沢がない。触角第3節の毛は長く、その節の基部直径の約2.5~2.7倍長。角状管は尾片よりも短い……ハゼアブラムシ
- 体は暗褐色ないし黒褐色で光沢がある。触角第3節の毛は、その節の基部直径と同長かいくらか長い。角状管は尾片よりも長い……………(3)
- (3) 体暗褐色。体長1.5~1.8 mm。尾片の毛は約18本。生殖板の毛は約15本 ……コミカンアブラムシ
- 体黒褐色。体長約2 mm。尾片の毛は約22~26本。生殖板の毛は40~45本……………ミカンクロアブラムシ

- (4) 額瘤は小さい……………(5)
- 額瘤はよく発達し、顕著である……………(8)
- (5) 角状管は平滑で、基部の幅の約1.5倍長。尾片は半円形またはヘルメット状で基部の幅よりも短く、毛は4~6本……………ムギワラギクオマルアブラムシ
- 角状管は黒色、円筒形で基部の幅の2.0~4.2倍長、覆瓦状を呈する。尾片は準円錐状で基部の幅よりも長く、毛は4~20本……………(6)
- (6) 体は黒色で光沢あり、腹部背面の皮膚は肥厚する……………マメアブラムシ
- 体は黄緑色ないし緑色で光沢なく、腹部背面の皮膚は肥厚しない……………(7)
- (7) 尾片は淡黄色または淡褐色で、4~6本の毛を生じる……………ワタアブラムシ
- 尾片は黒色で10~12本の毛を生じる……………ユキヤナギアブラムシ
- (8) 額瘤は発達して内側に傾く。無翅胎生雌虫の触角第3節に二次感覚器を欠く…モモアカアブラムシ
- 額瘤は発達して外側に傾く。無翅胎生雌虫の触角第3節に二次感覚器をそなえる……………(9)
- (9) 体は黒褐色。角状管や尾片も黒色で、尾片は角状管よりも長く、毛は約20本……………クスオナガアブラムシ
- 体は黄緑色、橙黄色。角状管や尾片も淡色で、尾片は角状管よりも短く、毛は4~6本……………(10)
- (10) 頭部、触角および脚は黒色。角状管は褐色で、中央部少し膨れ、尾片の1.6~1.7倍長。体長2.5~2.7 mm。……………ニワトコフクレアブラムシ
- 頭部、触角および脚は淡色。角状管は淡色であるが先端部が褐色、長円筒形で尾片の約2倍長。体長約1.7~2.5 mm……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ

## 3 各種の解説

- (1) マメアブラムシ *Aphis craccivora* Koch (図-1:1, 6, 17)

無翅胎生雌虫の体色は黒褐色で光沢がある。体長約1.5 mm。触角、脚は各節先端部を除き黄白色。角状管は円筒形で先端部はやや細くなる。尾片は黒色で毛は